



臨床美術ジャーナル Vol.4 No.1 (2015) 目次

【巻頭言】

広島大会をかえりみて

大橋啓一 (広島芸術専門学校 校長/第6回臨床美術学会 大会長)

【原著】

〈第6回大会(2014年)基調講演〉

美術と空間 一見当識をめぐって一

金田晋 (東亜大学大学院特任教授)

〈第6回大会(2014年)研究発表〉

大学における造形基礎教育への臨床美術的課題の応用

柴田眞美 (文化学園大学)

大学授業での臨床美術アートプログラムの実践の成果

三柘正典 (広島女学院大学)

被災地における臨床美術介入の効用と課題 ～東日本臨床美術りぼんの活動を通して～

菅原布美子 (東日本臨床美術りぼん)

子供分野における臨床美術の課題と展望

金子メソッドにおける視点と評価

保坂遊 (東京家政大学) 他

〈第5回大会(2013年)研究発表〉

芸術保育の枠組みと意義 一保育・幼児教育の視座から一

和田明人 (東北福祉大学)

〈投稿論文〉

地域包括支援センターにおける臨床美術による意味生成ケア I

一参加者個々の意味生成の物語の記述の試み一

北澤晃 (富山福祉短期大学) 他



地域包括支援センターにおける臨床美術による意味生成ケアII

—存在のかけがえのなさを生き生きと深めていくことの成り立ち—

北澤晃（富山福祉短期大学） 他

【事例報告】

〈第6回大会（2014年）研究発表〉

アートを通して入院中のこどもたちの生活を豊かに！

Hospital based kids art project の取り組みを振り返って

麻生健太郎（NPO 法人 Hospital based kids art project） 他

「様々な芸術表現と臨床美術」 臨床美術士が芸術作品を学ぶ必要性

加藤力（現代美術作家 芸術造形研究所）

【エッセイ】

「臨床美術の時代性」再考 —臨床美術とアール・ブリュット

松田弘（呉市立美術館館長）

安芸灘に浮かぶ美術館より

吉川昌宏（蘭島閣美術館 主任学芸員）

【第6回大会（2014年）シンポジウム講演録】

手は突き出た脳であると言われるが…

大月ヒロ子（IDEA R LAB 代表／ミュージアム・エデュケーション・プランナー）

“3H(Heart,Head,Hand)臨床美術”のススメ —3H 美術教育の視点から—

若元澄男（比治山大学 現代文化学部 子ども発達教育学科）

「1・2歳児の創造性への冒険」

藤木晃宏（芸術造形研究所）